

# 大空 (生徒・保護者向け) 56号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和3年12月16日(木)

## ヴァージニアちゃん、サンタ・クロースは本当にいるんだよー見えないものを見る力ー

### □本日の概要

- 1 8歳の少女の「サンタ・クロース本当にいるの?」という問いに答えたサン新聞の社説は、目に見えないものが人間を確かに支えていること、そしてそれを信じることの大切さ、素晴らしさを語っている。
- 2 私たちは言葉によって、見えないものを認識している。したがって、言葉によって自分の中の曖昧な思いを切り取るトレーニングは、自分の進むべき方向や、やるべきことを把握するために有効である。
- 3 今は夢を持つことで精一杯だろうが、将来は人に夢を与え続けることのできる大人になってほしい。そのために、美しい言葉をできるだけ多く身につけてほしい。
- 4 本日のNFC 感性 想像力

### □「サンタはいるの?」何と答えますか?

クリスマス話題2回目です。「サンタは本当にいるの?」小さな子どもに皆さんが質問されたら、何と答えますか?

この「サンタはいるの?」という質問は、世界中の子供達にとって永遠の謎であり、大人にとっては何と答えるべきかという点で大人を悩ませてきた質問です。

この質問を、新聞の質問欄に投げかけた8歳の女の子がアメリカのニューヨークにいました。1897年のことですから、今から120年以上前、日本は明治30年の頃の話です。

この女の子は、ヴァージニア・オハンロンちゃんといいます。当時はテレビやラジオのない時代です。ヴァージニアちゃんのお父さんは、「分からないことがあったらサン新聞に聞いてごらん。サン新聞がそういうなら、確かにそうなんだろう。」という言葉が口癖だったようです。そこで、ヴァージニアちゃんはお父さんの教え通りに、新聞に質問の手紙を書いたのです。今でいう電話相談室みたいな存在だったのかもかもしれません。

#### ○ヴァージニアちゃんの質問

こんにちは、しんぶんのおじさん。

わたしは8さいのおんなのこです。じつは、ともだちがサンタクロースはいないというのです。パパは、分からないことがあったら、サンしんぶん、というので、ほんとうのことをおしえてください。サンタクロースはいるのですか?

ヴァージニア・オハンロン

皆さんだったら何と答えますか。この8歳の女の子の問いかけに対し、サン新聞の論説委員フランシス・チャーチ氏は、何と社説で丁寧に応答します。この答えはアメリカ中の感動を呼び、名文と評価されました。そして、サン新聞は休刊するまで、毎年クリスマスになるとこの社説を掲載し続けたそうです。日本では、1977年にこのお話が絵本になり、「サンタクロースは本当にいるのでしょうか」として偕成社より出版されています。

### □サン新聞の回答

ヴァージニア、それは友だちの方がまちがっているよ。きっと、何でもうたがいたがる年ごろで、見たことがないと、信じ

られないんだね。自分のわかることだけが、ぜんぶだと思ってるんだろう。でもね、ヴァージニア、大人でも子どもでも、何もかもわかるわけじゃない。この広いうちゅうでは、にんげんって小さな小さなものなんだ。ぼくたちには、この世界のほんの少しのことしかわからないし、ほんとのことをぜんぶわかるうとするには、まだまだなんだ。

じつはね、ヴァージニア、サンタクロースはいるんだ。愛とか思いやりとかいたわりとかがちゃんとあるように、サンタクロースもちゃんといるし、そういうものがあふれているおかげで、ひとのまいにちは、いやされたりうるおたりする。もしサンタクロースがいなかったら、ものすごくさみしい世の中になってしまう。ヴァージニアみたいな子がこの世にいなくなるくらい、ものすごくさみしいことなんだ。サンタクロースがいなくてことは、子どものすなおな心も、つくりごとをたのしむ心も、ひとを好きて思う心も、みんないってことになる。見たり聞いたりさわったりすることでしかたのしめなくなるし、世界をいつもあたたかくしてくれる子どもたちのかがやきも、きえてなくなってしまうだろう。

サンタクロースがいらないだなんていうのなら、ようせいもいないっていうんだろうね。だったら、パパにたのんで、クリスマスイブの日、えんとつというえんとつぜんぶを見はらせて、サンタクロースをまちぶせてごらん。サンタクロースが入ってくるのが見られずにおわっても、なんにもかわらない。そもそもサンタクロースはひとの目に見えないものだし、それでサンタクロースがいなくてことにもならない。ほんとのほんとうっていうのは、子どもにも大人にも、だれの目にも見えないものなんだよ。ようせいが原っぱであそんでいるところ、だれか見たひとっているかな? うん、いないよね、でもそれで、ないってきまるわけじゃない。世界でだれも見ることがない、見ることができないふしぎなことって、だれにもはっきりとはつかめないんだ。

あのガラガラっておもちゃ、中をあければ、玉が音をならしてることがわかるよね。でも、目に見えない世界には、どんなに力があっても、どれだけたばになってかかっても、こじあけることのできないカーテンみたいなものがかかっているんだ。すなおな心とか、あれこれたくましくすること・したもの、それから、よりそう気もちや、だれかを好きになる心だけが、そのカーテンをあけることができ、そのむこうのすごくきれいですてきなものを、見たりえがいたりすることができる。つそじゃないかって? ヴァージニア、いつでもどこでも、これだけはほんとうのことなんだよ。

サンタクロースはいない? いいや、今このときも、これからもずっといる。ヴァージニア、何ぜん年、いやあと十万年たっても、サンタクロースはいつまでも、子どもたちの心を、わくわくさせてくれると思うよ。(傍線 校長)

### □目に見えないものを信じる素晴らしさ

新聞の社説は、その新聞社の姿勢を示す一番重要な主張が込められており、その論説委員は、概ねその新聞社のトップの人が勤めます。8歳の子どもの質問に、懸命に答えた当時のサン新聞の姿勢にも感動します。確かに、古き良き時代の

アメリカならではの答えなのかもしれませんが、私は、120年前のこの文章には、今も忘れてはならない大切なメッセージが込められている気がしてなりません。

現代は、物質中心の世の中です。お金を始めとして、私たちは物質的な豊かさや欲望に支配されています。もちろん、お金は大切です。食べ物がなければ生きていけませんし、生活していくためには様々なモノを消費します。しかし、「お金＝モノ」のことばかり考えていると、つついとお金に換算できない大切なものの存在を忘れがちになってしまいます。

サン新聞のフランシス・チャーチ氏は、目に見えないものが人間を確かに支えていること、そしてそれを信じることの大切さ、素晴らしさを語っています。そして氏の言葉は、見えないものの大切さを見失いつつある現代人に、改めて大切なことを教えているのではないのでしょうか。

## 口見えないものを見えるようにする言葉の力

2学期は「言葉の性質を踏まえたコミュニケーション」というテーマで、「言葉は私たちにある共通のイメージを呼び起こすという点で便利な記号であるが、そのイメージは具体的には一致しないという点で不完全な記号である。」という話をしました。この「共通のイメージを呼び起こす」という力が、実は私たちに「見えないもの」を認識可能にしているのです。例えば「愛」は見えません。また、「愛」のイメージは人によって違います。しかし、「愛」という言葉があるから、私たちは「愛」というイメージを、不完全ながらも共通して持つことができます。今学期、私は、「夢」「希望」「目標」などを持つことの意義を繰り返し語りました。夢という言葉にしても、一つとして同じものはありません。しかし、夢という言葉がなければ、私たちは夢を持つことさえできなくなるのです。大切なことは、自分の中の漠然とした思いを、できるだけ言葉に置き換え、目に見えるようにすることです。自分の「思い」は言葉に置き換えられることで初めて認識されます。幼児が泣きわめくのは、自分の不快感を把握する言葉が不十分だからです。多くの言葉を身につけた人は、自分の思いを把握することができますので、衝動的な行動が減ってきます。

私たちが日々の反省を記したり、目標を掲示したりするのも、漠然とした日常や将来を把握するための一つの方法です。自分の中の曖昧な思いを、言葉で切り取るトレーニングは、自分の進むべき方向や、やるべきことを把握するために有効です。古典的ですが、日記のようなものは、実は自己認識や自己の成長のためにとても大切な方法なのです。

## 口ヴァージニアちゃんのその後

ヴァージニアちゃんは、その後大学、そして大学院にまで進学し、先生になったそうです。最終的には校長先生になり、47年間もの長い間、教育者として活躍したそうです。彼女は、81歳で生涯を終えたそうですが、亡くなる直前まで、8歳の時に書いた手紙のことを知った様々な方から手紙を受け続け、その返事を書き続けたそうです。その返事には、必ずこの新聞の社説のコピーを添付していたということです。サン新聞から、夢を与えられた一人の少女は、生涯、人に夢を与え続け、天寿を全うしました。彼女は、手紙と新聞の社説が自分の人生の方向を決めたと語っていたそうです。つまり、言葉が、彼女の人生を決め、支え続けたのです。

皆さんは、今は夢を持つことで精一杯だと思いますが、将来は人に夢を与え続けることのできる大人になって下さい。モノに置き換えられない、様々な価値、つまり「美しい言葉」を大切にできる大人になって下さい。そのためにも、美しい言葉を、できるだけ多く身につけてほしいと思います。

星とたんぼぼ

金子みすず

青いお空のそこふかく、  
海の小石のそのように、  
夜がくるまでしずんで、  
昼のお星はめにみえぬ。  
見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

ちつてすがれたたんぼぼの、  
かわらのすきにだアまって、  
春のくるまでかくれて、  
つよいその根はめにみえぬ。  
見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

Dear Editor

I am 8 years old. Some of my little friends say there is no Santa Claus. Papa says, "If you see it in The Sun, it's so." Please tell me the truth, is there a Santa Claus?

Virginia O' Hanlon

Virginia, your little friends are wrong. They have been affected by the skepticism of a skeptical age. They do not believe except they see. They think that nothing can be which is not comprehensible by their little minds. All minds, Virginia, whether they be men's or children's, are little. In this great universe of ours, man is a mere insect, an ant, in his intellect as compared with the boundless world about him, as measured by the intelligence capable of grasping the whole of truth and knowledge.

Yes, Virginia, there is a Santa Claus. He exists as certainly as love and generosity and devotion exist, and you know that they abound and give to your life its highest beauty and joy. Alas! how dreary would be the world if there were no Santa Claus! It would be as dreary as if there were no Virginias. There would be no childlike faith then, no poetry, no romance to make tolerable this existence. We should have no enjoyment, except in sense and sight. The external light with which childhood fills the world would be extinguished.

Not believe in Santa Claus! You might as well not believe in fairies. You might get your papa to hire men to watch in all the chimneys on Christmas eve to catch Santa Claus, but even if you did not see Santa Claus coming down, what would that prove? Nobody sees Santa Claus, but that is no sign that there is no Santa Claus. The most real things in the world are those that neither children nor men can see. Did you ever see fairies dancing on the lawn? Of course not, but that's no proof that they are not there. Nobody can conceive or imagine all the wonders there are unseen and unseeable in the world.

You tear apart the baby's rattle and see what makes the noise inside, but there is a veil covering the unseen world which not the strongest man, nor even the united strength of all the strongest men that ever lived could tear apart. Only faith, poetry, love, romance, can push aside that curtain and view and picture the supernal beauty and glory beyond. Is it all real? Ah, Virginia, in all this world there is nothing else real and abiding.

No Santa Claus! Thank God! he lives and lives forever. A thousand years from now, Virginia, nay 10 times 10,000 years from now, he will continue to make glad the heart of childhood.